総合司会 本田光子(九州国立博物館)

11:00~11:05 開会挨拶 島谷弘幸(九州国立博物館長)

第1部 対談

11:05~11:45 熊本地震を考える

平川 新

司会:本田光子(九州国立博物館)

(NPO法人 宮城歴史資料保全ネットワーク理事長・宮城学院女子大学長)

三輪嘉六

(NPO法人 文化財保存支援機構理事長·前九州国立博物館長)

11:45~13:00 (休 憩)

第2部 報告(13:00~15:20)

熊本地震による文化財の被災とレスキュー中間報告

13:00~13:50 レスキュー事業の概要

文化財レスキュー事業の立ち上げについて

朝賀 浩(文化庁)

文化財の大規模被災 -初動からレスキュー、復旧スキームへ-

九州救援対策本部の活動

小泉惠英(九州国立博物館)

14:00~15:20 レスキューの事例報告

熊本被災史料レスキューネットワークの取り組み 稲葉継陽(熊本大学・熊本被災史料レスキューネットワーク)

熊本県立美術館の取り組み

有木芳隆・山田貴司(熊本県立美術館)

熊本県博物館ネットワークセンターの取り組み

國本信夫(熊本県博物館ネットワークセンター)

熊本市立熊本博物館の取り組み

竹原明理・甲斐由香里・木山貴満(熊本市立熊本博物館)

レスキューの実施と救出資料への対応について

三角菜緒(九州国立博物館)

15:20~15:30 (休 憩)

パネルディスカッション

15:30~16:45 熊本文化財レスキューから学ぶ

司会:小泉惠英(九州国立博物館)

朝賀 浩(文化庁)

稲葉継陽(熊本大学・熊本被災史料レスキューネットワーク)

健(国立文化財機構防災ネットワーク推進室) 岡田

平井 **青**(熊本県教育庁)·和田 **仁**(熊本市立熊本博物館)

16:45~16:50 閉会挨拶 伊藤嘉章(九州国立博物館副館長)

会場 九州国立博物館 ミュージアムホール

主 催 九州国立博物館

(福岡県太宰府市石坂)





国立文化財機構「文化財防災ネットワー

九州国立博物館





独立行政法人 国立文化財機構「文化財防災ネットワーク推進事業 |

公開シンポジウム 地域と共に考える文化財の防災・減災Ⅲ

熊本地震と文化財レスキュー

2016年4月に熊本・大分の地に発生した地震を受け、熊本県では被害にあった文化財の レスキューが進められている。発災から7ヶ月余りを経た今、この経験から何を学び、次なる災 害にどう備え、いかに地域が取り組んでいくべきなのか、改めて問われている。

当シンポジウムでは、まず阪神・淡路、東日本の地で文化財レスキューの第一線を担った 2人が、これまでの文化財防災のあり方や、今回の熊本地震を受けて考えたことを語り合う。 次に、発災後7ヶ月の間に取り組んできた文化財レスキューについて、現場担当者から報告す る。さらに、各地で文化財の防災に取り組んでいる機関や団体が果たすべき役割、地域とのか かわり方など、シンポジウム参加者を交えながら議論を深め、今後の課題を見据えたい。





- 1: 地震で転倒した仏像 (益城町教育委員会)
- 2: 倒壊した建造物からの文化財搬出 (熊本県)
- 3: 被災した古文書の風乾作業 (熊本県)
- 4: 救出文化財の二酸化炭素処理 (能本県)





参加無料 (申込不要)定員 280名 受付は10:30から

平成28年

12д 4 H (H) 11:00~16:50

[問い合わせ先] 九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂 4-7-2 TEL: 092-918-2834・2842

(九州国立博物館ホームページ)

http://www.kyuhaku.jp

■公共交通機関

【西鉄電車】

西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約13分/急行約17分)で 西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、 徒歩約10分 ※特急/急行料金不要

[JR]

JR 博多駅から JR 鹿児島本線(快速約 15 分)でJR 二日市駅下車、 JR 二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約 12 分、バス約 5 分)、 西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用 【西鉄バス】

博多バスターミナル (1 階 11 番のりば太宰府行き) から 西鉄太宰府駅下車 (所要時間約 40 分)、徒歩約 10 分

■車

【九州自動車道】太宰府 I Cまたは筑紫野 I Cから高雄交差点経由で約20分 【福岡都市高速】水城出口から高雄交差点経由で約20分 【タクシー利用】 J R二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

※駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。

